

(5) 吐いた



ワンポイントアドバイス

吐く状態とは

胃、食道、腸の運動が妨げられている場合、あるいは頭の中に異常がある場合に起こります。

寝ているときは、顔を横向きに

吐いたもので窒息しないように、寝ているときは、顔を横向きにしてください。

水分を補給し、様子を見ましょう

少しくらいのおう吐であれば、少量の湯冷ましや小児用イオン飲料などを少量ずつこまめにあげてみましょう。おう吐がひどいときは無理にあげず、少し落ち着いたら水分を補給して、様子を見ましょう。

消化が悪いものは避けましょう

落ち着いてきても、みかんやオレンジなどの柑橘類^{かんきつ}、牛乳、乳製品などの消化が悪い食べ物や飲み物はあげないようにしましょう。

症状に応じた対処法

- 発熱や下痢などがなく、状態が落ち着いている
- 吐いた後、水分が飲める

様子を見て、昼間の診療時間内に、かかりつけ医などを受診しましょう



- 元気がなく、ぐったりしている
- 吐いたものに赤色(血液)や緑色(胆汁)のものが混ざっている
- おしっこが半日くらい出ず、唇や舌が乾いている
- 便に血が混じっている
- おう吐と下痢を何回も繰り返す
- 水分をあげると吐く状態が続く

「はい」が一つもない

夜間休日救急診療所を受診しましょう



「はい」が一つ以上

救急車を呼びましょう



- 頭を強く打った後に吐いた(頭の中に異常があって、吐いている場合があります)